

2026 年 3 月期 第 1 四半期 決算説明動画書き起こし記事公開のお知らせ

ワークデザインを手がける株式会社ヴィス（本社：大阪市北区、代表取締役社長：金谷智浩、東証スタンダード：5071）は、2026 年 3 月期 第 1 四半期の決算説明動画（IRTV）を書き起こし記事として公開しましたのでお知らせします。

目次

■2026 年 3 月期 第 1 四半期 連結業績

- ・ [外部環境](#)
- ・ [ビジネスモデル](#)

■連結業績

- ・ [エグゼクティブサマリー](#)

■事業状況

- ・ [主要 KPI](#)
- ・ [主要 KPI 推移](#)
- ・ [プロジェクト件数の内約](#)
- ・ [売上高推移](#)
- ・ [営業利益推移](#)
- ・ [受注高推移](#)
- ・ [受注残推移](#)
- ・ [連結業績予想サマリー](#)

■株主還元方針

- ・ [株主還元の基本方針](#)
- ・ [配当予想](#)
- ・ [資本収益性](#)

■2026 年 3 月期 第 1 四半期 決算説明動画 (IRTV)

URL : https://youtu.be/gAoslO-GWtM?si=DCglFnQ_MnjLYoU_



(記事本文)

.....

(金谷) 皆様こんにちは。株式会社vis代表取締役社長の金谷でございます。本日は2026 年 3 月期 第 1 四半期の決算説明をさせていただきます。

当社は、『はたらく人々を幸せに。』というパーパス（存在意義）に基づいて「ワークデザイン」を提供しております。「ワークデザイン」とは、ワークプレイス構築を軸に企業のブランディングを向上させ、社員の幸福度を高め、自己実現を促す会社づくりをコンサルティングすることです。

■ フィロソフィー



PURPOSE

はたらく人々を幸せに。

AMBITION

私たちだからできる「ワークデザイン」によって、
はたらく空間やしぐさを進化させ、
一人ひとりの想像力と創造力をひきだし、
人と人との多彩なつながりを生みだす。
だれもが自分らしく、
最大の力を発揮しながらはたらくことができる社会へ。
新たな価値や感動がずっと生まれるよう企業や組織と共創し、
人々の幸せがふくらんでいく世界を実現します。

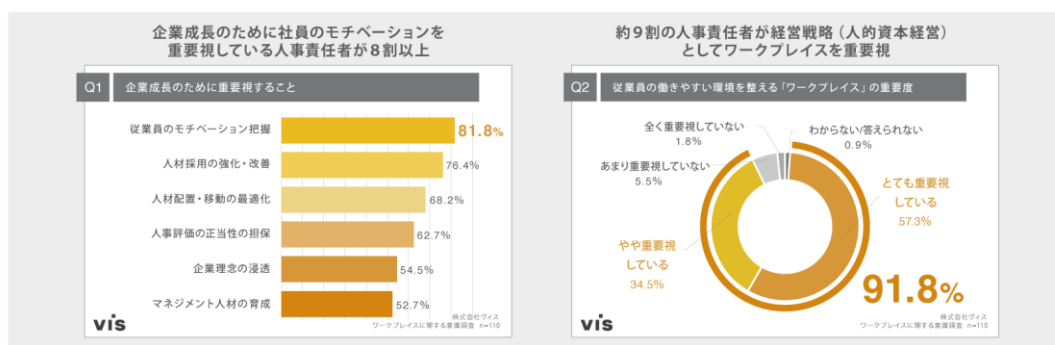
外部環境

当社のビジネスを取り巻く外部環境は、人的資本経営の追い風を受け、社員のモチベーションの向上や採用強化のためにオフィス環境をより良くしたいという企業が増加しています。

外部環境

人的資本経営としてのワークプレイスの重要性の高まり

堅調なオフィス需要の中、ワークプレイスへの投資を、人材獲得や社員エンゲージメント・生産性向上のための成長投資と捉える企業が増加。新しい働き方に合わせた働く環境の整備が進む。



ビジネスモデル

当社の特徴として、オフィスデザインを主軸に、ウェブデザイン、グラフィックデザインをワンストップで提供しているブランディング事業、バリューアップ、フレキシブルオフィスである『The Place』の運営を行っているプレイソリューション事業、社員の「働く」をスコアリングするツール等を提供するデータソリューション事業の 3 つの柱で事業展開をしております。

ビジネスモデル

働く環境や働き方をデザインする 『ワークデザイン』に関するサービスを提供



連結業績

エグゼクティブサマリー

第1四半期の売上高は31億1000万円、前年度比では85.4%、営業利益は2億4400万円、前年同期比は58.2%となっています。トピックスとしては引合件数が前年同期比で減少と、大規模案件（1億円以上）の引合いが減少し、構成比が中規模案件にシフトしました。また、大規模案件の受注数は7件となりました。

2026年3月期 第1四半期 連結業績 エグゼクティブサマリー

(2025年4月～2025年6月累計)

売上高	3,110 百万円	前年同期比 85.4%
営業利益	244 百万円	前年同期比 58.2%
トピックス	- 引合件数は前年同期比で減少 - 大規模案件の引合いが減少し、構成比は中規模案件にシフト - 大規模案件(1億円以上)の受注件数: 7件 (1,403百万円)	

Copyright© V&S Co., Ltd. All rights reserved. 94

詳細は以下の通りです。

2026年3月期 第1四半期 連結業績

(2025年4月～2025年6月累計) (百万円)

	25/3期 Q1	26/3期 Q1	前年同期比	構成比
売上高	3,642	3,110	85.4%	-
売上総利益	1,063	892	83.9%	28.7%
営業利益	420	244	58.2%	7.9%
経常利益	417	243	58.4%	7.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	277	158	57.1%	5.1%
EPS (円)	33.48	18.94	56.6%	-

Copyright© V&S Co., Ltd. All rights reserved. 95

事業状況

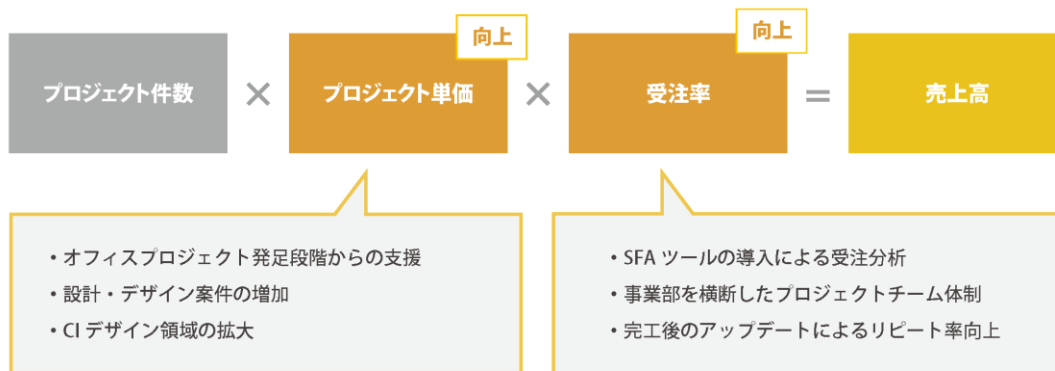
主要 KPI

ブランディング事業の主な KPI は引き続きプロジェクトの数ではなく、単価を向上させ受注率を高めることで効率的な売上増、案件確保を目指して事業戦略を立てております。

主要KPI

ブランディング事業 主要KPI

オフィスデザインの件数・単価・受注率をKPIとし、単価と受注率向上を目指す。



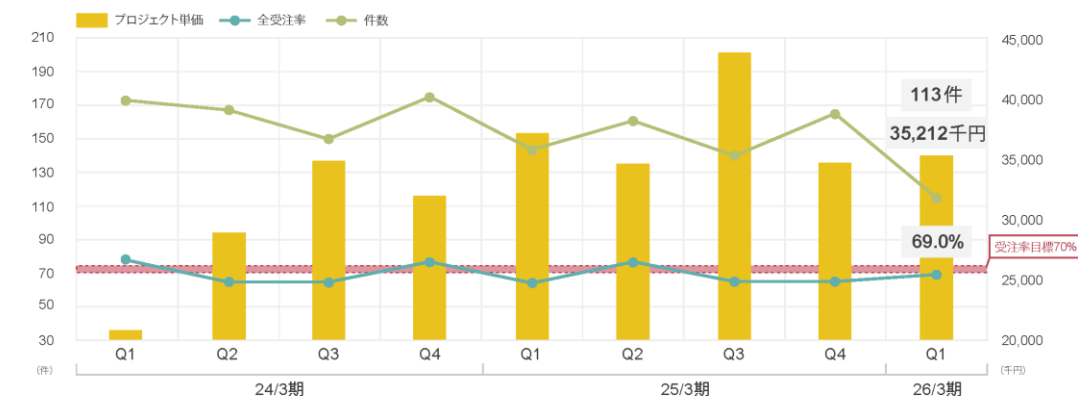
Copyright© MS Co., Ltd. All rights reserved. 87

主要 KPI 推移

26 年 3 月期第 1 四半期の引合い件数は 113 件、案件単価が約 3 千 5 百万円となっています。受注率は 69%をキープしているものの、第一四半期は緩やかな立ち上がりとなりました。要因としては前期の第 4 四半期が、年度末である 3 月に向けての納品需要が高まり好調であったため、その納品に社内のリソースが集中した結果、当第 1 四半期は引合い件数が減少しました。

ブランディング事業 主要KPI推移

受注率は概ね目標水準を維持した一方、引合い件数は減少
一定以上の案件数の維持が今後の重点課題



※KPI 詳細は次頁を参照

Copyright© MS Co., Ltd. All rights reserved. 88

詳細は下図の通りです。

ブランディング事業 主要KPI推移(詳細)^(※1)

	24/3期				25/3期				26/3期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
プロジェクト (引き合い) 件数 ^{※2}	171	168	149	176	139	158	137	165	113
プロジェクト単価 (千円) ^{※3}	21,324	28,654	34,572	32,093	36,943	34,288	44,033	34,621	35,212
受注率 ^{※4}	77.8%	64.3%	63.1%	72.7%	64.0%	72.8%	64.2%	66.7%	69.0%

※1 ブランディング事業のオフィスデザインについての指標。
※2 当該四半期に売上予定であった引き合いの合計件数。(受注、失注を含む)
※3 引き合いから受注し、当該四半期で売上計上されたプロジェクトの平均単価。
※4 プロジェクト(引き合い)件数のうち、受注に至り当該四半期に完工した件数の割合。例:引き合い156件、失注41件の場合、受注率73.7%。

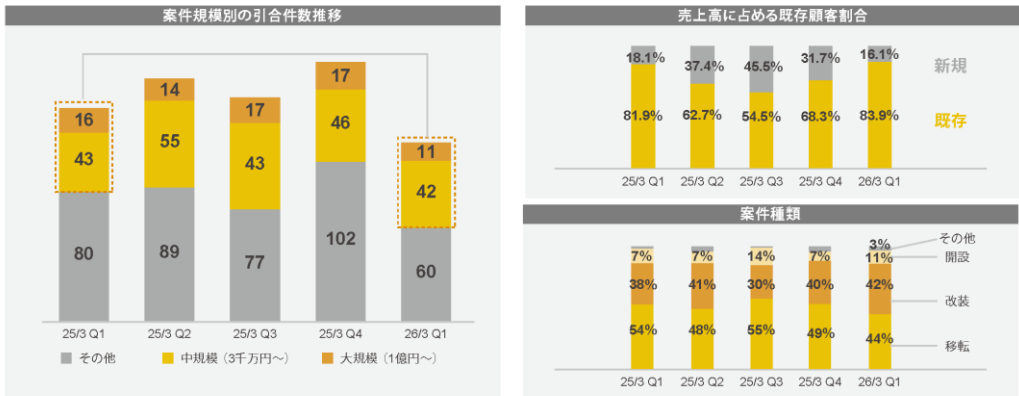
Copyright© MS Co., Ltd. All rights reserved. 89

プロジェクト(引合い)件数の内約

大規模案件は前年同期比で5件減少し、中規模案件の構成比が増加しています。移転と改装の比率の変動も要因となり既存顧客の割合が高くなりました。現在は新規顧客獲得を強化するためマーケティングや営業といった側面対策を練り、全社一丸となって対応しております。

ブランディング事業 プロジェクト(引合い)件数の内訳

引合件数は前年同期比で減少。大規模案件は5件減、中規模案件が構成比増
既存顧客割合が高く、新規顧客獲得の強化が必要



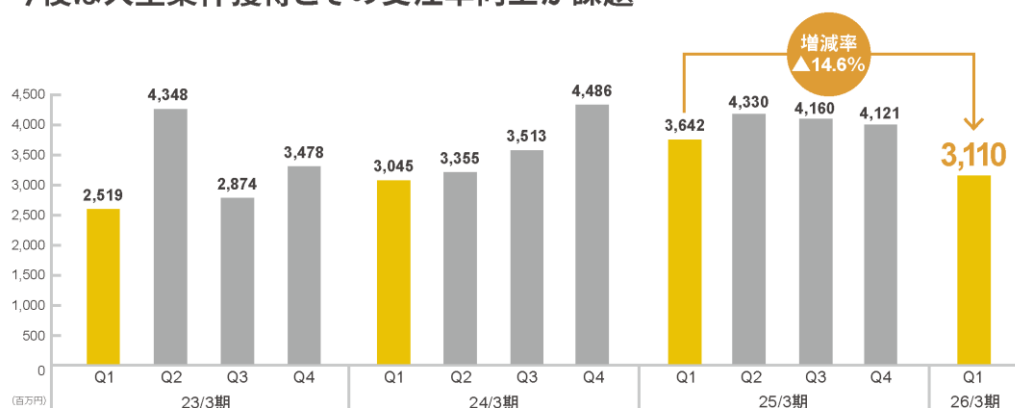
Copyright© MS Co., Ltd. All rights reserved. 10

売上高推移

売上高は前年同期比で 14.6%減少となりました。要因は大規模案件を含めた引合い件数の減少ですが、大型案件獲得や受注率を高めるため事前に対応を進めております。

売上高推移(四半期)

前年同期比▲14.6%。大規模案件を含めた引合件数の減少が影響
今後は大型案件獲得とその受注率向上が課題



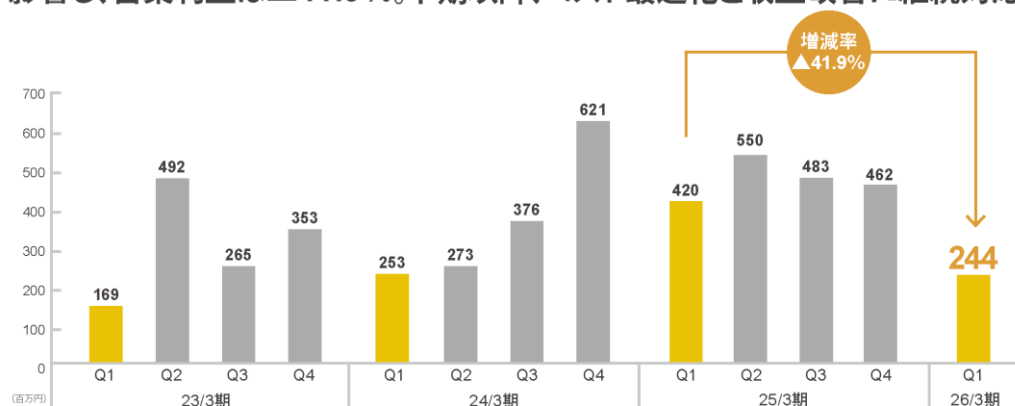
Copyright© MSE Co., Ltd. All rights reserved. 11

営業利益推移

営業利益は前年同期比で 41.9%減少となっています。要因は売上の減少だけではなく、9 月の大阪本社移転による二重家賃と採用費増が影響した結果です。

営業利益推移(四半期)

売上減少に伴う粗利額低下に加え、大阪本社の二重家賃と採用費増が影響し、営業利益は▲41.9%。下期以降、コスト最適化と収益改善に継続対応



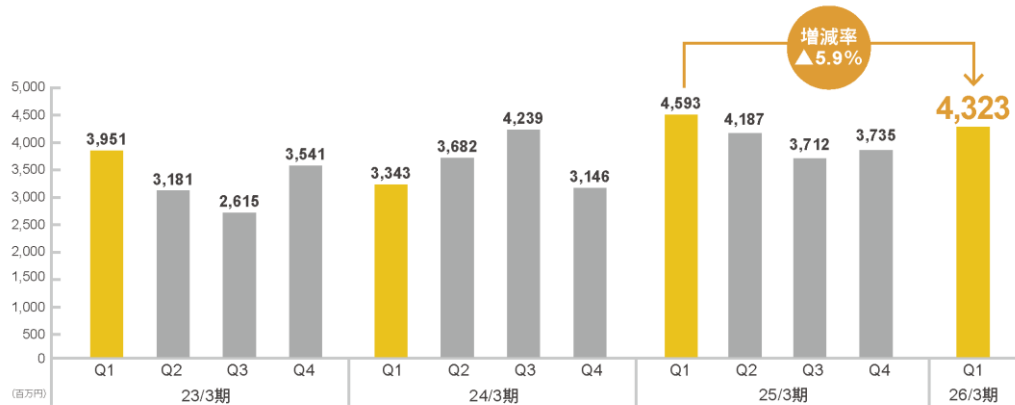
Copyright© MSE Co., Ltd. All rights reserved. 12

受注高推移

受注高は前年同期比で 5.9%減少しましたが、43 億円と堅調に推移しております。

受注高推移(四半期)

売上高は前年同期比で減少したが、受注高は43億円と堅調に推移



※受注高には、不動産の賃料収入を含めておりません。

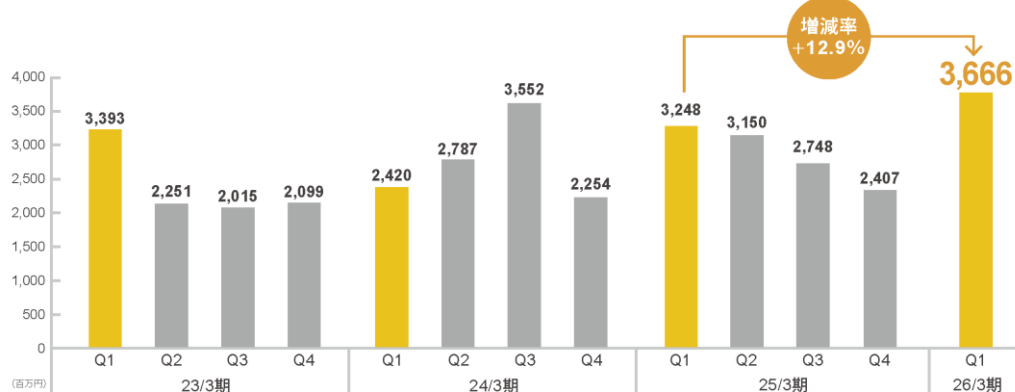
Copyright© WS Co., Ltd. All rights reserved. 13

受注残推移

前年同期比からは 12.9%増加し、予見性が高まっています。対策として、受注率の改善と案件数確保に向け対策しております。

受注残推移(四半期)

第1四半期の売上高は一時的な減速となったが、受注残は前年同期比 12.9%増。次四半期以降の売上に対する予見性が高まっている



※受注残高には、不動産の賃料収入を含めておりません

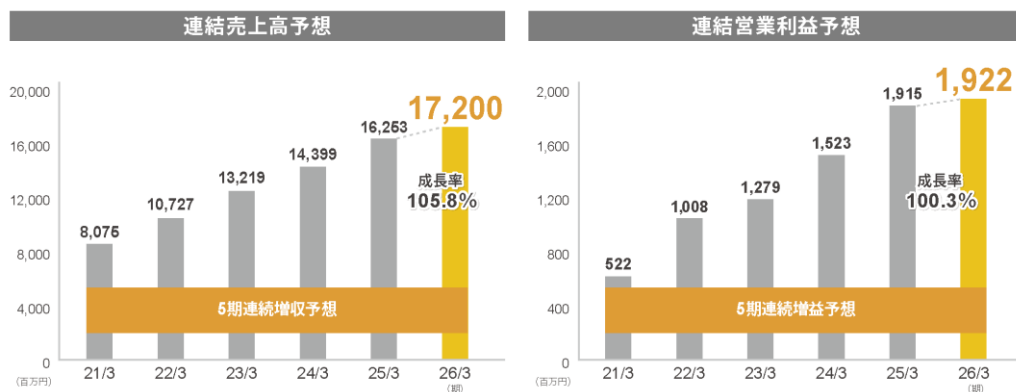
Copyright© WS Co., Ltd. All rights reserved. 14

連結業績予想サマリー

第1四半期は緩やかな立ち上がりではありましたが、通期で売上高 172 億円、営業利益 19 億 2200 万円を目標とし達成することで5期連続の増収増益を目指しております。

2026年3月期 連結業績予想 サマリー

人的資本への投資、発信拠点としての**大阪本社移転**、『**The Place**』**新拠点開設**など成長投資を行いながらも、**5期連続増収増益**を目指す



※当社は2023年3月期より連結決算に移行しております。上記では、業績の推移をご覧いただくため、2022年3月期までの実績は単体の数値を用いております。

Copyright© MS Co., Ltd. All rights reserved. 19

株主還元方針

株主還元の基本方針

連結の配当性向が 30%以上、1 株当たりの配当性向を継続的に充実させるという方針を持っております。

株主還元の基本方針

3つの最適なバランスを実現

事業成長のための投資推進、財務の健全性の確保そして株主の皆様への還元の3つのバランスを考慮しつつ、経営基盤ならびに企業体質を強化。



成長投資推進

- ・人材への投資（優秀な人材の採用、教育研修）
- ・自社オフィスへの投資
- ・M&AやDX等への投資

財務健全性確保

- ・手元流動性比率3ヵ月以上確保

株主還元強化

- ・連結配当性向30%以上
- ・1株当たり配当金を継続的に充実化

Copyright© MS Co., Ltd. All rights reserved. 17

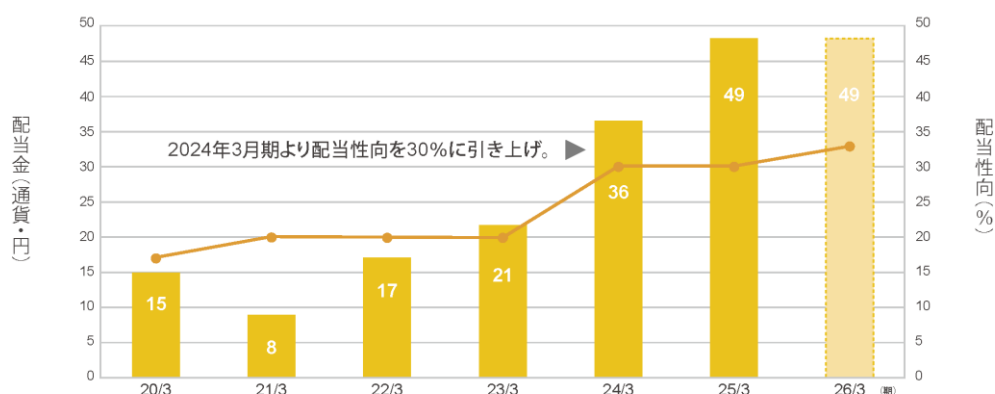
配当予想

毎期増収増益を継続し株主様に還元できる経営をしてまいります。

前期は税制の優遇もあり利益が上がりましたが、今期の設備投資や二重家賃などを含めて一時的な減益が予想されております。しかし、予想通りの着地となれば 49 円配当を維持する方針です。

配当予想

毎期増収増益を継続し株主還元強化。前期の税制優遇、今期の設備投資で一時的な減益も、予想通りの着地となれば49円配当を維持予定



※当社は2023年3月期より連結決算に移行しております。上記では、業績の推移をご覧いただくため、2022年3月期までの実績は単体の数値を用いております。

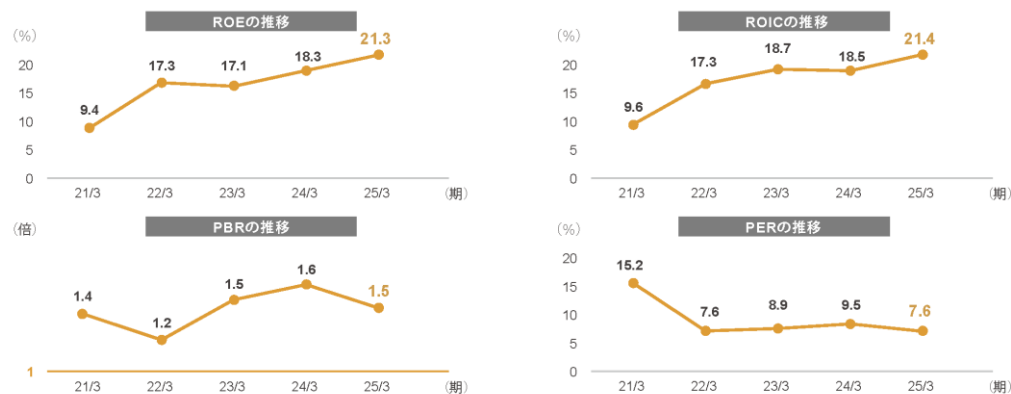
Copyright© V&S Co., Ltd. All rights reserved. 18

資本収益性

ROE は 20%超と高水準を維持しております。また、PBR も 1 倍を保っているため今後も市場の市場効率の向上を重視した経営方針を継続してまいります。

資本収益性

ROEは21%超と引き続き高水準を維持し、PBRも1倍を上回る水準で推移。今後も資本効率の向上を重視した経営を強化する方針



Copyright© V&S Co., Ltd. All rights reserved. 19

以降は参考資料になりますのでまたご覧いただければと思います。
本日はお忙しい中動画のご視聴をいただきましてありがとうございました。

.....

(記事おわり)

【会社概要】

社名：株式会社ヴィス

代表者：代表取締役会長 中村 勇人 代表取締役社長 金谷 智浩

事業内容：ブランディング、データソリューション、プレイスソリューション

設立：1998 年 4 月 13 日

上場市場：東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：5071）

HP：<https://vis-produce.com>

【記事内の資料】

■2026 年 3 月期 第 1 四半期 決算説明資料

URL：<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS02976/4e5324db/4e78/4313/8273/59072f37edc9/140120250709510848.pdf>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ヴィス IR 担当

E-mail：ir@vis-produce.com